

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
トラストネクスナCcb

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010
評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								3.2
1 音環境				4.0	0.15	3.5	1.00	3.5
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.1.1 騒音								
1.1.1.1 室内騒音レベル				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.1.1.2 設備騒音対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				5.0	0.50	4.0	0.50	
1.2.1 開口部遮音性能		アルミ建具はT-2等級		5.0	1.00	5.0	0.30	
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		乾式 二重床Lr - 45		3.0	-	4.0	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		乾式 二重床Lr - 50		3.0	-	4.0	0.20	
1.3 吸音				-	-	3.0	-	
2 温熱環境				2.0	0.35	3.0	1.00	2.8
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	1.00	
2.1.1 室温				-	-	-	-	
2.1.2 負荷変動・過渡制御性				-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能				3.0	1.00	3.0	1.00	
2.1.4 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-	
2.1.5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
2.1.6 個別制御				-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
2.1.8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				2.7	0.25	4.0	1.00	3.8
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.0	0.50	
3.1.1 昼光率		共用部5.8、住居部3.8		5.0	0.60	5.0	0.50	
3.1.2 方位別開口				-	-	3.0	0.30	
3.1.3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				1.0	0.30	4.0	0.50	
3.2.1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御		住居部はカーテンと庇で制御		1.0	1.00	4.0	1.00	
3.2.3 映り込み対策				-	-	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-	
4 空気環境				3.0	0.25	3.1	1.00	3.1
4.1 発生源対策				3.0	0.60	3.0	0.63	
4.1.1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00	
4.1.2 アスベスト対策				-	-	-	-	
4.1.3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				3.0	0.40	3.3	0.38	
4.2.1 換気量		居室面積の1/8の有効開口		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.2 自然換気性能				3.0	-	4.0	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.7
1 機能性				2.5	0.40	2.0	1.00	2.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	2.0	0.60	
1.1.1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応				3.0	-	2.0	1.00	
1.1.3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	
1.2.1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	
1.2.3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保		ゴミ置場、各戸メーターボックス		4.0	0.50	-	-	
1.3.3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.33	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		雑給水管:塩ビパイピング 銅管、汚水・雑排水管:硬質塩ビ管		5.0	0.15	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	大便器は全数節水型、配管系統の分離	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり					3.6	0.50	
1	階高のゆとり	住居部分階高:2.96m	3.0	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		潜熱回収型ガス給湯器	4.8	0.40	-	-	4.8
3a	集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		5.0	-	-	-	
3b	集合住宅の評価		4.8	-	-	-	
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	主要水栓、大便器は節水型	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.63	-	-	2.9
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	鉄鋼スラグ混入路盤材・舗装路盤材	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率95%	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪台数92台、駐車台数103台	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	全周にバルコニー・外廊下を配している。	5.0	0.30	-	-	